

令和2年度～令和7年度

荒尾市地区別計画

荒尾地区 全体の方針

地区の課題を解決し、資源を生かしてどんな地域を目指すか。
ワークショップでは住民の皆さんが思い描く荒尾地区の未来について意見を出してもらいました。
目指す姿の実現に向け引き続き住民で意見を出し合いながら、
今後、具体的な取組みを考えていきます。
活動への積極的な参加など取組みへのご協力をお願いします。

「住みやすく」「交流が活発」なまち



目指す姿 1

「交流が活発」なまち

交流が活発な地域になるためには、世代間、
区間のコミュニケーションの推進やさまざまな
イベントの実施、ボランティアの増加など
が必要です。それにより、高齢者と子どもた
ちの交流が進み、住民
同十がボランティアで
助け合う地域を目指し
ます。



目指す姿 2

「暮らしやすい」まち

暮らしやすい地域の形成のために、交通の便
や買い物場所などのインフラ整備や企業誘致
による経済基盤の強化が求められています。
その上で住民自身が自ら動けるよう、健康意
識を持ち、お
互いに助け合
えるよう防犯
意識を高め
ていく活動を行
います。



目指す姿 3

「地域資源を活用する」まち

史跡のほかにも、海や空き地などを地域の資
源と考えれば、活性化のためのさまざまな活用
が可能です。地域の散歩道や公園の整備、活
用のほか、空き家をどのように活用できるかを
考える必要があります。



目指す姿 4

「教育に力をいれる」まち

教育に力を入れることは、子育てしやすい地区
づくりにつながり、人口増加、地域活性に発展
します。子育て世代の支援と交流だけでなく、
子どもを支援し、巻き込んでいく活動が求めら
れています。



荒尾地区 Arao area

有明海に面し、荒尾市役所がある荒尾地区。
地域には、鎌倉将軍三代の塔や大イブヨウが保存されている浄業寺、
日本近代史に大きな足跡を残した宮崎兄弟の生家や荒尾二造資料館などがあります。
地域活動も盛んで、中でも子どもを含む地域住民が
一体となって実施している「音と光の祭典」は、毎年多くの参加者で賑わっています。



■年齢別人口推計



■世帯増減数推移



人口は2020年以降も減少する見込みで、2040年には、1,120人減少し6,349人となる見込み。
併せて高齢化率が33.2%となる見込み。
人口減少に伴い、2040年までに世帯数も減少する見込み(▲157世帯)。

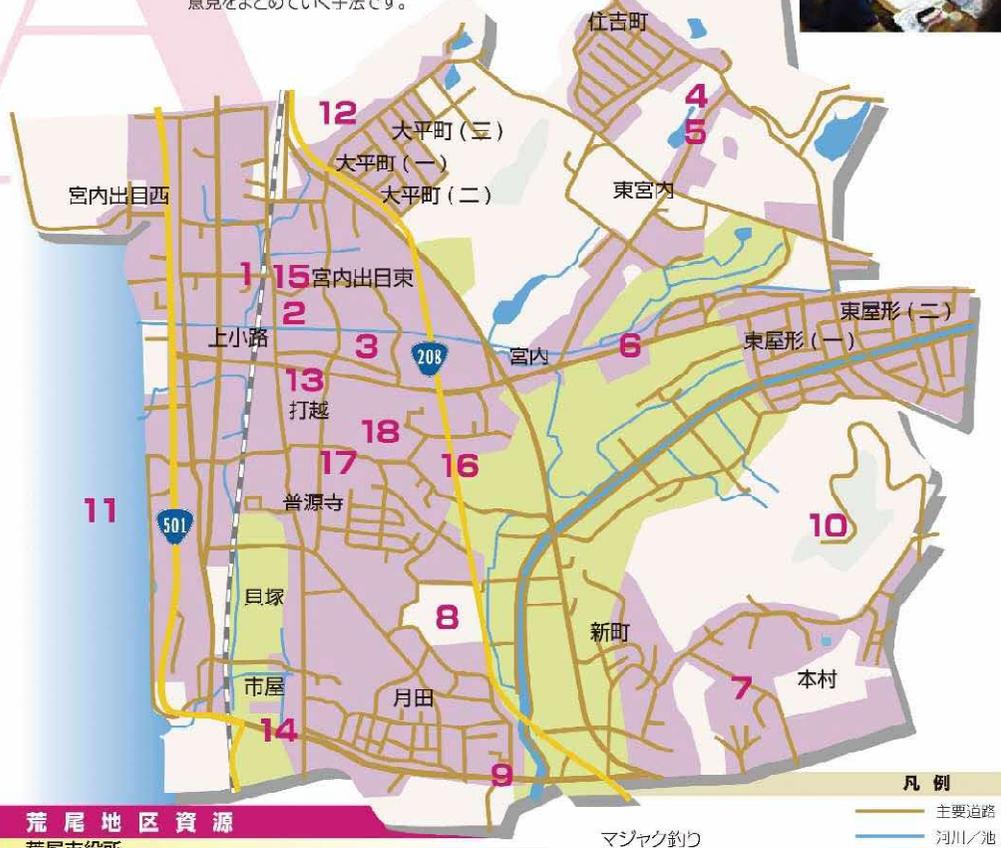
注) 小地域単位でコーホート要因法による推計を実施(推計動向「子供女性性」「0-4歳世帯」の各パラメーターは国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口の仮定値(荒尾市)を使用
人口推計(平均年齢/年別推計)と15年以降の平均年齢/年別推計(平均年齢/年別推計)と15年以降の平均年齢/年別推計(平均年齢/年別推計)に基づき
資料) 国土交通政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV2(H27版)」及び「将来人口・世帯予測プログラム(バージョン1.0)」を用いた計算結果を加工して作成

荒尾地区 資源マップ

荒尾地区で開催したワークショップで、地区の自慢を地図に落とし込みました。点状にしている資源は、地区の皆さんの暮らしと心を支えています。

ワークショップとは

さまざまな立場の人が集まって、自由に意見を出し合い、お互いの考えを尊重しながら意見をまとめていく手法です。



凡例

- 主要道路
- 河川/池
- 空地/ほ
- 田・畑など

荒尾地区資源

- 1 荒尾市役所
- 2 宮崎兄弟の生家・音と光の祭典
- 3 熊野神社・子ども神楽
- 4 東宮内公民館・囲碁クラブ
- 5 自治会加入率98%(東宮内)
- 6 グリーンアベニュー
- 7 荒尾市民病院
- 8 荒尾海陽中学校
- 9 花のみち
- 10 屋形山・展望台・ウォーキングコース
- 11 有明海 荒尾漁協・マジック釣り大会・海のウォーキングコース
- 12 明栄寺・観音像
- 13 往相寺
- 14 シュロの街路樹
- 15 浄業寺・大イチョウ
- 16 自転車専用道路
- 17 荒尾二造資料館
- 18 荒尾第一小学校



マジック釣り



宮崎兄弟の生家



荒尾二造資料館

荒尾地区 魅力と課題

荒尾地区の皆さんと、地区について考えたワークショップでは、日頃から感じている、地区の困りごと(課題)や地区の自慢(魅力)について、意見を話し合いました。多くのご意見をいただいた中で、地区の皆さんが特に重視している課題や、地区ならではの魅力と考えているものをあげてもらいました。

課題

- ### 1 空き家が多い

 - ・空き家の増加、放蕩が多い。
 - ・雑草増加の原因になっている。
 - ・捨て犬、捨て猫が多い
 - ・イノシシがでる

荒尾地区のH30年時点の空き家数は114軒(目視調査で空き家と判定された家)。そのうち56軒は、解体が必要。または解体が今後必要となる「老朽危険」空き家です。空き家の増加が雑草増加、捨て犬、捨て猫の増加などの原因になっているという意見がでました。
- ### 2 自治会の参加が少ない

 - ・自治会役員のなり手が少ない
 - ・イベント参加者(特に若者)が少ない

「地域活動が盛ん」という意識はありますが、活動を支える役員や、参加者の減少は他地区同様課題としてあがりました。特に若い人の参加がなくなり、地域のつながりが薄くなっていることが心配されています。
- ### 3 地域資源が活用されていない

 - ・宮崎兄弟の生家の表示が分かりにくい
 - ・空き家が活用されていない

荒尾地域の誇りである「宮崎兄弟の生家」。貴重な資源が保存されていますが、孫文の表示がなかったり、入口の誘導看板が分かりにくいなどの問題を抱えています。そのほか、荒尾二造資料館や地域の空き地などの活用も検討事項です。
- ### 4 その他

 - ・バスのダイヤが少ない上、免許返納支援も少ない
 - ・燃えるゴミの収集場所が汚くなっている

地域のインフラを支える交通網の不足やゴミの収集場所、収集のマナーなどについても課題になりました。

魅力

- ### 1 誇れる資源がある

 - ・宮崎兄弟の生家や荒尾二造資料館がある
 - ・海(マジック釣りなど)

地域イベントの会場にもなっている宮崎兄弟の生家は、地域住民の誇りとなっています。そのほか、有明海と有明海を活用したイベントも開催されており、地域活生のためにより活用するアイデアが求められています。
 - ### 2 地域活動が盛ん

 - ・花いっぱい運動を頑張っている
 - ・音と光の祭典など地域活動が盛ん
 - ・公民館活動が盛ん

学校と地域のつながりが強いと感じる住民が多いのは荒尾地区の特徴です。子ども会活動も盛んで、地域行事として始まった「音と光の祭典」は地域の子どもと大人が一緒になって盛り上げています。高齢化率は26.1%と荒尾市で最も低くなっています。
- 音と光の祭典

どんとや

花のみら
- ### 3 環境がいい

 - ・防犯灯が充実
 - ・飲食店が多い
 - ・自転車道路がある

市役所周辺の市街地にある荒尾地区は商店が多く、防犯灯などの環境整備もすすんでいます。